



みつくura



《 北米産大豆 》

19/20年 世界及び米国大豆生産予測・需給予測

米国農務省がこのほど発表した19/20年度の米国大豆生産・需給予測によれば、作付・収穫面積、単収・生産高、供給量は前回から据え置きの方、需要量が減ったことで期末在庫は上方修正されています。

また、同日発表された世界大豆生産・需給予測によれば、生産量が減少し、期初在庫も下方修正されましたが、需要も減少したことで期末在庫は上方修正されています。

19/20年産 世界大豆生産・需給予測

生産量	3億3,656万t	(対前年比 6.0%減)
消費量	3億4,960万t	(対前年比 1.6%増)
期末在庫量	9,542万t	(対前年比 13.0%減)
期末在庫率	27.3%	(対前年度差 4.6ポイント減)

19/20年産 米国大豆生産・需給予測

生産量	9,662万t	(対前年比 19.8%減)
消費量	6,078万t	(対前年比 0.6%増)
輸出货量	4,831万t	(対前年比 1.6%増)
期末在庫量	1,292万t	(対前年比 48.0%減)
期末在庫率	11.8%	(対前年度差 11.2ポイント減)



《 トピックス 》

○台風被害で令和元年産大豆の収量や品質に懸念

10月に発生した台風19号の影響で宮城、栃木、茨城、千葉といった太平洋側の産地の収量や品質が心配されています。特に宮城県は大豆の作付面積が9,000haを超える全国有数の産地ですが、一部報道によると、県内作付面積の約75%が浸水及び冠水被害を受けた模様です。被害状況は、冠水日数や排水の良否、さらには品種や生育ステージなどによっても違うため、現時点で被害の全容は見えませんが、12月頃には全体像が見えてくると思われます。状況がわかり次第、追って報告いたします。

○11月3日現在の米国大豆収穫率は75%、平年を12ポイント下回る-米農務省

米農務省が4日発表した、11月3日現在の米国大豆収穫率は、主要18州平均で75%（前週62%、前年81%、平年87%）と前年を6ポイント、平年を12ポイント下回っています。また、19年産の新穀は作付遅れの影響により、小粒傾向や平年より低たんぱくになる可能性が指摘されています。

三倉産業株式会社

仙台市若林区卸町1-4-7 TEL 022-232-6151

URL:<http://www.mitk.co.jp/mitukura> E-mail: mitk@mitk.co.jp

<< 「豆」がメロディーを奏でると「豊」という字ができます >>



MI み TSU くら RA



○「第5回全国豆腐品評会」 農林水産大臣賞はささはら豆腐店、宮城県勢の健闘光る！

先日、岡山市で開催された「第5回全国豆腐品評会」の結果発表・表彰式でささはら豆腐店（宮城県）の充填豆腐「プチ玉（香り）」が農林水産大臣賞を受賞しました。

寄せ/おぼろ豆腐部門では兎豆屋（宮城県）の「香りおぼろ」が金賞にあたる農林水産省食料産業局長賞を受賞するなど宮城県勢の健闘が光る結果となりました。受賞された皆様本当におめでとうございます！



(写真左：ささはら豆腐店 笹原社長)
(写真右：兎豆屋 安達社長)



(チーム宮城+井川とうふ店 井川社長(大阪))



《 食品部門 》

○「2019年産馬鈴しょでん粉」生産量は前年よりも増加見込み-JA系統工場の製造量-

9月よりJA系統でん粉全10工場が稼働し概ね順調に操業、11月下旬頃までの予定となっております。今年は大きな天候の崩れもなく順調に生育し、原料集荷量は増加する見込みですが、ライマン価（でん粉含有量）が昨年より1%程度低い状況です。今のところ、生産見込み数量は、16万トン半ばと思われます。最終の数量は、分かり次第、追って報告致します。



J A系統工場



じゃがいも収穫

三倉産業株式会社

仙台市若林区卸町1-4-7 TEL 022-232-6151

URL:<http://www.mitk.co.jp/mitukura> E-mail: mitk@mitk.co.jp

<< 「豆」がメロディーを奏でると「豊」という字ができます >>